

日本精神保健社会学会

THE JAPAN ASSOCIATION OF

MENTAL HEALTH SOCIOLOGY

<日本学術会議協力学術研究団体 No. 1001>

ニュースレター第 61 号

発行人:宗像恒次 編集人:山本美奈子

平成 29 年 9 月 1 日

事務局:栃木県宇都宮市豊郷台 1-1

帝京大学宇都宮キャンパス

滝澤武研究室内

TEL&FAX 028-627-7188

E-mail:info@jamhs.org

第 23 回日本精神保健社会学会学術大会・総会のお知らせ

- 開催日:平成 29 年 11 月 23 日(木) 祝日
- 会場:筑波大学東京キャンパス文京校舎 119 教室
- 大会テーマ:市民のレジリエンスを高める社会—身体のコがあたたまる関係を築く—
- 参加費:一般:4,000 円(第 3 部のみ参加 3,000 円)

会員:3,000 円

学生(大学院生含む):2,000 円(*受付で学生証の提示をお願いします)

●プログラム

第 1 部 10:00~口頭発表

12:00~昼食・休憩

第 2 部 13:00~13:30 学会総会

第 3 部 13:40~16:30 シンポジウム

~シンポジウムのご案内~

司会進行 宗像 恒次 学会長

(筑波大学発(株)SDS 情動認知行動療法研究所 筑波大学名誉教授)

○いじめ対応スクールソーシャルワーカーの立場から 荒巻 りか氏

さまざまな相談のなかには「いじめ」の被害加害に関するものもある。実は人間関係のもつれや葛藤を「いじめ」と短絡的に結び付けている場合もあるが、それを整理していくことも大切な仕事である。そしてそれは子どもたち同士の問題だけではない。「夫が会社でいじめられていて鬱病になりそうだ」「私は夫から否定され続けて怯えて過ごしています」

というような保護者が直面している迫害的な状況も多々相談として寄せられる。深刻な「いじめ」(迫害)は、大きくその子(人)の人格や精神状態を崩壊させる危険をはらんでいる。スクールソーシャルワーカーとして、どのようにそうした問題と関わっているか、その一端を報告したい。

○がんサバイバーの立場から 松崎 素子氏

突然のがん宣告までは、健康自慢で 125 歳長寿生涯現役！と豪語する、がんとは全く無縁の人生でした。即手術し進行がんとわかり、いつまでも健康で当たり前が続くはずの明日が目の前でぶ厚い扉で閉ざされた自分。抗がん剤に耐えても再発 ➡ 死の怖れで人生断崖絶壁、母の介護修羅場の嵐。「生きたい！」と必死に求め、宗像恒次先生のがんセラピーと出会えたのです。セラピーを受け、実はがんになって当然の自分から「あるがままの自分」へと生き方が変わりました。友人や家族、生きがいの趣味や研修などの仲間と苦楽を共にし、今を喜び楽しみあえて体の芯があたたまる日々。がんのギフトです。生きててよかった！がんに感謝。当日、人生の劇的ビフォーアフター「見える化」で物語ります。一緒にテーマの答えを見つけましょう。

○LGBT の立場から—今ここに存在する輝きに委ねて— 中山 玲子氏

私は体は女性、心は「無性」を自認しています。男女という枠組みの中では、型にはめられて身動きできない苦しさがあります。そして、空気や水、様々な元素といった性別を固定されていないものにこそ一体となれる感覚を持っています。「こんな私はおかしい」という思いがいつもあって、なんとか人に認められようとしてきた私。先天性の視覚障害もあることで、ダブルマイノリティとして孤立してしまうのではないかという不安感にも、いつも襲われていました。でも、今私は本質的な変化を感じています。間違いや正しさを手放した私に届いたギフトたち。それを選んで生きる私におこったこととお話します。一つ一つの出会いに感謝を込めて。

●懇親会のご案内 (17:00～)

学会学術大会・総会終了後は、参加者の皆様との懇親会の場を設けています。ぜひこの機会に交流を深めていきましょう。ご希望の方は、11 月 19 日(日)までに学会事務局へメールまたは FAX にて、お申込みをお願いします。

★口頭発表の演題募集★

発表を希望する方は、演題名を **9月22日（金）** までに事務局へお申込みください。抄録については、**10月20日（金）** までに事務局にご提出ください（抄録は、下記のフォーマットに沿って作成してください）。

申込み提出先: E-mail: info@jamhs.org または FAX: 028-627-7188

口頭発表は、パワーポイントを使用したパソコンでの発表を原則とします。学会事務局にてパソコンを準備しますので、当日電子媒体でデータをご持参ください。当日は、運営の都合上 9 時 45 分までにお越し頂き、電子媒体のデータをパソコンに格納ください。

抄録のフォーマット（A4 サイズ）		上下 35mm
タイトル（MS ゴシック体 11 ポイント） （1 行あける）		
左右 30mm		氏名（所属）明朝体 10.5 ポイント ※右寄せ 東京 花子（〇〇大学） 左右 30mm
本文は明朝体 10.5 ポイント		

平成 29 年度 「研修会」 報告

～参加者の声～

○滝澤 武（帝京大学）

6 月 13 日に NPO 法人生涯発達研究所の 3 周年記念講演会（栃木県壬生町）が開催された。テーマは「脳を鍛え、個性としての発達しょうがいを生かす」と題して宗像恒次学会長（筑波大学名誉教授）とハーバード大学医学大学院臨床精神医学准教授であるジョン・J・レイティ博士が講演された。



近年、発達しょうがいと言われる子どもが増加し、この子どもたちに対する理解と対応が重要な課題となっているものの、発達しょうがいに

対して適切な対応ができる方は限られている。その中で、本学会と NPO 法人生涯発達研究所・ヘルスカウンセリング学会・筑波大学発（株）SDS 情動認知行動療法研究所の 4 団体連合による「認定発達しょうがいアドバイザー」及び「認定発達しょうがい療育士」制度が創設された。

「認定発達しょうがいアドバイザー」の研修では 発達しょうがいとは？（定型発達 vs 非定型発達）、発達しょうがいのアセスメント — 自閉スペクトラム症、ADH 症、知的発達症、限定性学習症、発達しょうがいの脳科学、ADH 気質と自閉スペクトラム気質が陥りやすいストレス症などについて学んだ。また、「認定発達しょうがい療育士」での研修では宗像学会長の開発した SAT 情緒安定化法とレイティ博士が顧問をしている SPARK メソッドを中心に研修が行われた。今回の講演会では宗像学会長から「個性としての発達しょうがいをいかす脳科学」レイティ博士から「脳を鍛えるには運動しかない」というテーマでお話を伺うことができた。お二人の講師から脳科学から発達しょうがいをとらえ、適切な療育を行ううえでヒントを得ることができた。

今回は栃木県壬生町での開催であったが、今後は全国で、このような研修会が開催できることを期待したい。

○黒須 美代子

強く印象に残りましたのは、宗像恒次博士の講話のなかで、脳の特性から読み解く ADH 症や自閉スペクトラム症の発達しょうがいの解説からの「発達しょうがいは、しょうがいではなく個性です。種族の違いです。」という結論でした。ADH はリーダー気質であり、自閉スペクトラム症は職人氣質であり、かつ感覚過敏を個性や才能として活かすことができるそうです。しかしながら、ADH 症にしても自閉スペクトラム症にしてもストレス症が加わると問題化しやすくなると考えられ、個性を活かすことは容易ではなくなります。その解決策として、SAT 法によりストレス症を解消し遺伝子どおりの個性を活かせるようになるというお話は大変興味深いものでした。

ジョン・J・レイティ博士の講話では、運動刺激によって脳神経系や身体にとって好ましい脳神経伝達物質が分泌されるため集中力が高まり、またアディクション等のネガティブな行為は少なくなりますが、運動刺激を中止すると脳神経伝達物質の分泌は元に戻るそうです。そのため、散歩などの有酸素運動や筋力トレーニングは継続することが大切との

ことです。運動を実践している高齢者の事例に触れ、年齢にとらわれず、運動継続を実践してその効果のほどを体感してみたいと思いました。

理事の声—本学会の発足を振り返って—

宗像 恒次

（筑波大学発ベンチャー（株）SDS 情動認知行動療法研究所・CEO 筑波大学名誉教授）

本学会は、ISA(国際社会学会)の精神保健部会が日本で開催されるにあわせて 1993 年 8 月に発足した経緯がある。発足趣旨には「今日ほど、社会諸科学がその社会的責任を果たすことを必要とされている時代はないでしょう。とりわけメンタルヘルスの問題は、…略…国も内外に山積しています。これまで産業社会を支えてきた近代科学技術は、感情を極力排し、事柄のみに基づいて判断し、評価する秩序を作り、豊かな物の生産と消費の基盤を発展させてきました。しかし、そうした感情を排する秩序を徹底して作れば作るほど、人と人との共感する心は失われるのです。…略…私達は、自分や相手の本当の感情を見だし、共感しあうメンタルヘルスを求めています。そして、それを個人にとどまらず、集団、社会に、さらには文化として表現する具体的かつ実践的な対応策を導き出すためには、精神保健社会学の理論と方法論とが必要であります。」と掲載されている。

発足後、世界に先駆けて「労働者のいじめ」調査研究（『働く人のストレスサバイバル—いじめ、リストラ、セクハラ』、明石書店刊）が進められ、世にパワハラ概念が生み出された。「ニートと家族」調査研究（『ニート・ひきこもりと親-心豊かな家族と社会の実現へ』、生活書院刊）、「震災メンタルヘルス」研究（年報掲載）、「モラルハラスメント（情緒的嫌がらせ）」調査研究（年報掲載）と時代に即応した研究が進められてきている。そして今年の大会テーマは、「市民のレジリエンスを高める社会-身体の芯があたたまる関係を築く」（11月23日筑波大学東京キャンパス開催予定）と発足当時の趣旨からぶれていない。

「逆境（ストレス）を克服する経験によって強化される、穏やかさ、寛容さ、明るさ、自信、優しさ、勇気など環境への許容力やストレス復元力」（宗像恒次）という心のレジリエンスと、自己肯定感と他者肯定感のある「体の芯からあたたかい関係」（未意識レベル）をつくりだせるコミュニティレジリエンスとは何かについて参加者とともに考えたい。

理事の声—介護現場の高齢者虐待が36%急増—

NPO 渋谷介護サポートセンター 主任介護支援専門員 服部 万里子

平成 11 年に介護保険に向けて東京渋谷区で第一号の「特定非営利活動法人」を設立し、介護保険のケアマネジメント単独事業を開始して 18 年になる。私も非常勤のケアマネジャーとして地域の高齢者福祉に向きあってきた。介護保険制度がスタートした時、これで日本の介護問題は家族から社会的に取り組む課題になり、国民が共通し不安に思っている「高齢期の安心」の道が開けたと考えてきた。国も当初は介護保険制度の定着化のためにサービス事業所を誘導し、「人に向き合う仕事」としてヘルパー研修はどこも満員で空き待ちの状態だった。それが今はどうか、介護福祉士の学校は学生が集まらず、閉鎖が続き、267 万人いるヘルパー2 級終了者の 86. 5%は介護の仕事についていない。都市の介護施設は派遣会社から人を補充しなければ介護職の確保ができない。派遣会社一人勝ちである。介護福祉士も平成 28 年度は国家試験の受験者が半減した。資格登録者は 160 万人いるが介護分野の就労率は 6 割以下である。

厚生労働省の介護労働安定センターの平成 28 年度調査では「介護職の不足」の原因は「採用困難」にある。その理由は①給与が安い ②仕事がきつい ③社会的評価が低い ④休みが取りづらい ⑤仕事が不安定等である。これだけ揃えば誰も来ない。

18 年でこれほど変化したのは国の介護保険政策に問題がある。介護保険サービスの単価は公定価格で 3 年ごとに国が定める。介護保険スタートから 5 回の単価改訂で 4 回が前年度より実質マイナス改訂だった。サービス事業所も払いたくても払えず、訪問介護の 47. 6%。デイサービスの 42. 7%、特養ホームも 31. 4%が赤字である。「介護は給与が安い」定説になり、人材が逃げていくのである。

このしわ寄せは、介護現場に行く。厚生労働省の「高齢者虐待防止法」の調査では平成 28 年度の介護施設等による高齢者虐待が 36%と急増した。そのトップは特別養護老人ホーム、2 番目が有料老人ホームである。虐待発生要因の 26. 9%が「職員のストレスや感情コントロールの問題」である。介護の給付削減は、サービス利用者にツケが回るのである。

「福祉」を広辞苑で引くと「幸福」と出てくる。日本国憲法 13 条では「国民の幸福追求の権利」を規定し、憲法 25 条は社会保障、社会福祉は国の役割と規定している。「憲法」が危ないのは 9 条だけではない。この現実にとよろうおの蠅の斧を振るう毎日である。

会費納入のお願い

本学会の活動は、会員の皆様の会費によって支えられております。平成 29 年度の年会費は、平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日の期間です。今年度の年会費納入をお願いいたします。なお平成 28 年度の会費納入がまだ済まれていない方は、速やかにご納入くださいますようお願い申し上げます。会費、振込み先は以下の通りです。

会費 通常会員 5,000 円 学生会員 3,000 円

振込み先 ゆうちょ銀行 加入者名 日本精神保健社会学会 00170-6-613036

なお、前年度の未納分を併せてお振り込み頂く場合、本年度会費に未納会費を加えた金額を記入の上、通信欄に「〇〇年度分と 2 年分」とご記入下さい。その他ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい。

平成 29 年度「学会奨励賞」募集のお知らせ

今年度も「学会奨励賞」を募集いたします。エントリーを希望される方は、本学会ホームページの「日本精神保健社会学会奨励賞内規」の選考基準を充たしているかご確認のうえ、学会事務局にお問い合わせ下さい。ご希望の方に必要書類をお送りしますので、書類作成のうえ、9 月末日までにご応募ください。

日本精神保健社会学会入会のご案内

1. 主旨

今日ほど、社会諸科学がその社会的責任を果たすことを必要とされている時代はないでしょう。とりわけメンタルヘルスの問題は、慢性化する内戦や犯罪に始まり、薬物依存、弱者虐待、閉じこもり、抑うつ、仕事中毒、セックス中毒など、国も内外に山積しています。

これまで産業社会を支えてきた近代科学技術は、感情を極力排し、事柄のみに基づいて判断し、評価する秩序を作り、豊かな物の生産と消費の基盤を発展させてきました。しかし、そうした感情を排する秩序を徹底して作れば作るほど、人と人との共感する心は失われるのです。そして、「自分の持つ本当の感情は何か」を見失い、無気力に閉じこもったり、あるいは食、セックス、地位などの快感を求めることに逃避したり、弱い立場にある者を差別し、様々なかたちの暴力を加えるのです。ところが、これらの問題は、これまでの各ローカル社会における従来の秩序のあり方では、解決できなくなってきました。

そこで私達は、自分や相手の本当の感情を見だし、共感しあうメンタルヘルスを求めています。そして、それを個人にとどまらず、集団、社会に、さらには文化として表現する具体的かつ実践的な対応策を導き出すためには、精神保健社会学の理論と方法論とが必要であります。

学会長には情動認知行動療法研究所の宗像恒次氏が選出され、理事達の顔ぶれも社会学、心理学、保健学、社会福祉学、精神医学、公衆衛生学と多岐に渡っています。

様々な分野の方々が、ご入会くださるよう期待しています。

2. 指針

- ①メンタルヘルスの背景となる社会・文化的構造と変動を、社会学的な視点から研究をすすめて、世論の形成に寄与し、社会的貢献を果たす。
- ②大会やイベントにワークショップ形式を導入し、学会の運営に会員が積極的に参画する。
- ③国際的にも仲間づくりをすすめていく。
- ④建前を排し、本音で語り合える仲間や研究グループを形成する。
- ⑤社会学を専攻する学生達に、夢を与えるような仕事をする。
- ⑥大会やイベントごとに論文や本などをまとめて出版し、成果を社会に還元して行く。

3. 入会申し込み方法

送付先: 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 帝京大学宇都宮キャンパス 滝澤武研究室内

日本精神保健社会学会事務局 TEL & FAX: 028-627-7188、E-mail: info@jamhs.org

入会金: 5,000 円

年会費: 通常会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員 一口 10,000 円（一口以上）、機関会員 20,000 円

送金先: 郵便振替 00170-6-613036 加入者名 日本精神保健社会学会

※ E-mail、FAX、郵送にてお申込ください。承認後、振込み手続き等をご送付します。

日本精神保健社会学会入会申込書

フリガナ 氏 名		生年月日	西暦 年 月 日 歳 (男・女)
会員種類	通常会員・学生会員・賛助会員・機関会員 を希望する	連絡先	所属・自宅 を希望する
所属名 及び住所	〒 TEL: FAX: E-mail:		
自宅住所	〒 TEL: FAX: E-mail:		
所 属 系 (○印)	社会学・文化人類学・経済学・哲学・心理学・社会福祉学・教育学・看護学・医学・保健学・栄養学・体育学・地理学 行政学・政治学・その他()		
関心領域			

